冬号 ほけんだより

発行日/令和5年 1月11日
発行者/小村　真帆

ノロウイルスやロタウイルスによる『ウイルス性胃腸炎』が流行する季節になりました。
園では、お子さんが嘔吐した場合、園内の感染流行を防ぐために、**汚れた衣類を洗わず、密封してお渡ししています。**
ご家庭で、消毒・洗濯をしていただくよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

ノロウイルス感染症
（ウイルス性胃腸炎）

「流行性嘔吐下痢症」とよばれるとおり、激しい嘔吐と下痢が起こります。
ほとんどの場合１～３日で回復しますが、脱水症をおこすことがあり、油断は禁物です。

吐いた！　おう吐時のケア、知っておきましょう

①吐いたものを口から取り除く

②静かにさせて、様子を見る

③１時間以上してからスプーンで水分をとらせる

消毒方法

塩素系消毒薬

ノロウイルスは感染力が強く、嘔吐物で汚れた衣類などの消毒には塩素系消毒薬に浸けるといいですよ。

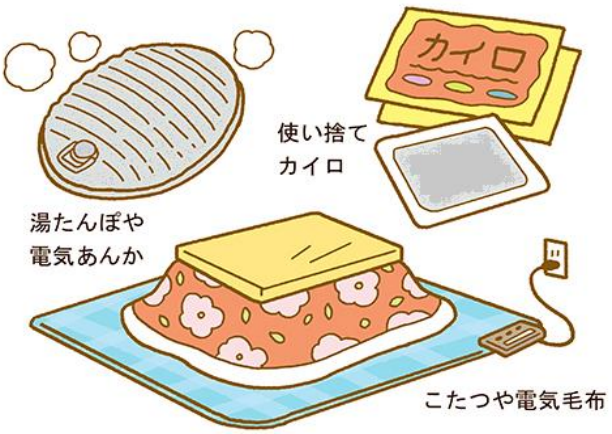
熱湯消毒

塩素系消毒薬は衣類につくと色落ちします。色落ちさせたくない場合は、85度以上の熱湯に1分間浸ける方法もあります。

低温やけどに注意しましょう

低温やけどは、使い捨てカイロなど、身近なものが原因になります。50 度なら３分間押しつけているだけで、42 度でも６時間触れていると、低温やけどを起こします。

低温やけどは少しひりひりしたり赤くはれたりするだけですが、実際には皮膚の深いところに及んでいることがあります。子どもは症状をうまく言えないので、皮膚のはれが長引くときは、念のため受診しましょう。



低温やけどを防ぐには

電気毛布は寝る前 ON、寝るとき OFF

寝る前に電気毛布のスイッチを入れてふとんを温めておき、寝るときにはスイッチを切りましょう。

湯たんぽは体から離して

電気あんかや湯たんぽは、睡眠中に触れないよう体から少し離れたところに置きましょう。